

# QSK にぬふあぶし

№ 2 7 6

ね  
子の方向の星



新年のごあいさつ

公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会

会長 山田圭吾

あけましておめでとうございます。

旧年中は多くの面で皆様に支えられたことに感謝いたします。一人一人が互いに支えあっていることを忘れないでいたいと思わされています。

昨年中も私宅監置についての写真パネル展や映像の上映会が各地で開催されました。映画「夜明け前」上映会会場(沖縄市、八重瀬町)、沖縄市ハートフル展、北海道三カ所、みんなねっと全国大会(愛知県刈谷市)、宮古島市未来創造センター、那覇市役所、日本病院・地域精神医学会等々、反響も大きく、その後の開催場所や日程等についての問い合わせもあり、また、監置小屋についての新たな情報も寄せられました。今年も沖縄県立図書館を皮切りに、各地で開催を予定していますが、これらの活動が「消された精神障害者」の人権回復に役立てたらと願っています。

さて、来る1月30日(木)～31日(金)の日程で「みんなねっと九州ブロック家族大会」がパシフィックホテル沖縄(那覇市)を会場に開催されます。日頃の喜びや苦しみ悲しみについて分かち合う機会を持てたらと願っています。8年ぶりの沖縄での開催ですので、一人でも多くの家族の皆様にご参加いただきますようお願いいたします。

新年も会員の皆様、関係各位のご健勝をお祈りいたしますとともに、沖福連へのご協力、ご支援をお願いいたします。

## 20周年を迎えて 「ワークプラザ ユニティー」

「ワークプラザ ユニティー」は平成11年9月に小規模作業所ユニティーとして開所し、令和元年9月をもちまして20周年という節目の年を迎えることができました。この日を迎えることができましたことは関係者、運営に携わってくれたスタッフ、そしてユニティーを利用して下さった利用者の方々の協力と支えがあったからです。心から感謝と御礼を申し上げます。

開所当初は、心ある方の事務所に間借りをさせて頂いて職員・利用者を含め5名でスタートいたしました。それから運営形態も変遷し作業所から地域活動支援センターⅢ型へそして、平成21年にB型事業所に移行して現在に至ります。運営形態が変わっていくその節目々に、自分たちが大切にしている「共働」という想いから遠ざかってはしまわないか、と思い悩みました。運営面はひっ迫していましたが、作業所には、職員と利用者をごちゃ混ぜになって働いている大切な空間がありました。その時の経験が今のユニティーの根幹にあり、強さに繋がっています。

2020年は「弱さこそが強さ」、そして「マイノリティーからイノベーションの創造」をキーワードにユニティーという“枠組みを超えて”スタッフ一同、利用者の方々と共にUnity(心をつなげて)共生社会の実現の為にユーモラスに歩いていく所存でありますので、より一層のご支援とご協力を宜しくお願い致します。

管理者：比嘉 寿



第12回 全国精神保健福祉家族大会  
2019年11月7日～8日  
みんなねっと家族会 愛知大会に参加して

當山 幸子

### 【オープニングセレモニー】

名古屋市北区地域活動支援センターピアセンターなないろの皆さんの合唱で歌声サロンマキ、ミツキ、衣装は手作りで家族の人達も一緒に歌い人生涙と笑顔あり、ヤングマンYMCAは会場の皆様と盛り上がり楽しかった。

“何にもしないで生きるより何かを求めて生きようよ。”でした。

愛知県大会は「誰もが幸せと感ぜられる社会」をテーマに精神医療保健福祉や先進国「ベルギー」の精神保健改革を学びました

### ●基調講演…名古屋大学学院医学系研究科 尾崎 紀夫教授

精神障がいとは、「精神的な症状によって、社会で暮らす力が損なわれている状態」と定義されている。

精神科医療の目的は、精神障がいの回復を助ける。症状を良くると同時に社会で暮らすことが出来るよう援助することにあります。

「結婚」や「出産・育児」や「自動車運転」をあきらめる事無くその方なりに社会で暮らすことが出来るよう援助し実現に向け精神医学研究を進めるべきだと考えているそうです。アメリカ、イギリスでは専門家の参道の全てを満たせば自動運転可能だそうです。

### ●記念講演…ベルギーにおける地域移行について

ベルギー保健省・精神保健改革コーディネーター バーナード・エイコブ氏  
ベルギーではつねに当事者を中心において、彼らのニーズに耳を傾け自分でどうして行きたいかをきめるという「リカバリーの考え方」に焦点を当てて。その5つのポイントは次のとおり

- ① 精神保健の予防と増進、スクリーングと保険診断
- ② モバイルチーム(自由に動く、移動性の) 急性期の家庭治療機器解決治療チームと慢性期の積極的地域治療チーム(ACT チーム)がある
- ③ 地域社会に再統合するための精神科リハビリテーション
- ④ 急性期の慢性期の集中的居住サービス
- ⑤ 家庭生活困難患者へ特別居住サービス

ベルギーが変われて、わが国が変われることが出来ないのは何故か？  
その要因を検討し、わが国が変わるためには何をすべきなのか。その為の家族会運動はどうあるべきか。精神医療福祉はもっともっと改善していけるのだという希望を持っていきたいと思います。

2日目 11月8日(金) 私は第2分科会に参加しました。

### ●諸外国から福祉を学ぶ

司会：愛知県精神障害者家族会連合会副会長 堀田 明  
シンポジスト

伊勢田 堯 精神科医

浜島 恭子 障害者インターナショナル日本会議事務局員

栗花 和美 東京ソテリア職員

ベルギーをはじめ北欧諸国、英国、イタリア、イタリアのバザーリア法等と内容の濃い情報を学ぶ事が出来ました。地域精神保健ケアの基本原則と鍵になる構成要素として①論理、②講習性、③リカバリー。④介入の有効性⑤地域のケアネットワーク⑥ピアの専門知識 (PeerExpertise) の6つの視点を提供した。

ユーコムズによる精神医療の呼びかけ

(1)ユーコムズ(EUOMS)とは欧州地域精神保健サービス提供者(EUCOMS)ネットワーク 2019年6月現在21ヶ国、61組織が加入しており、世界にも普及を図ろうとしている。

(2)英国の他の動き：精神保健計画の中で「ケアラーのケアする」が位置づけられ、初めて家族を対象とするガイドライン精神疾患のある人のケアラーと家族のためのサービス開発の位置づけ、参画を深める形で広がっている。

(3)フランコ・バサーリアの革命的運動初期の彼の偉大さは言葉そのものだけではなく言葉の表現や身振りの表現さえも失ってしまった無数の患者の痛みと声を与え戻すことを知っていたことであつた。

## みんなねっと九州家族大会 「一人も取り残さない ゆいまーる沖縄大会」

日時：1月30日(木)～31日(金)

会場：パシフィックホテル沖縄(那覇市西3-6-1)

九州ブロック家族大会は、毎年1回、九州・沖縄の各県持ち回りで開催されてきた精神保健福祉研修会です。2019年2月の熊本県(熊本市)からバトンを受け継ぎ、2012年以来8年ぶりの沖縄での開催となります。

前回は、東日本大震災の直後にあたり、「命どう宝 ～ゆいまーるの絆で～」をテーマに、地震と津波とフクイチによる犠牲が一過性のもではなく、沖縄戦「晩発性PTSD」と重なることに視点をおいて、蟻塚亮二医師に記念講演をいただきました。大会終了後には、みんなねっと理事長と九州各県の会長8名による桜苗の記念植樹もありました。

さて、今回の大会テーマは「一人も取り残さない ゆいまーる沖縄大会」、沖縄の私宅監置を取り上げ、これからの精神保健のあり方を考えます。記念講演は「リカバリー 痛みの共有と連帯(琉球古来の世界観 癒しの風土)」

(講師：稲田隆司医師)です。「ピア・サポート」「新しい支援の仕組み」「僕のリカバリーストーリー」の報告と大会終了後には、大きく育った桜満開の姿を見に行く計画もしています。

みんなねっと九州ブロック家族大会に、是非ご参加ください。

問合せ連絡先：沖福連 098-889-4011 大会事務局(桑江、高橋)

### ◎編集後記◎

令和初めての年末に人のあたたかさをたくさん知る機会がありました。

にぬふぁぶし読者の皆さま、新しい年もどうぞよろしくおねがい申し上げます。(は)

編集：公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会  
会長 山田 圭吾

〒901-1104 沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1

てるしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX098-888-5655

E-mail [terushino@castle.ocn.ne.jp](mailto:terushino@castle.ocn.ne.jp)

発行：九州障害者定期刊行物協会

〒812-0054 福岡県福岡市東区馬出 2-2-18

電話 092-753-9722 FAX 092-753-9723

定価：10円(会費に含まれる)